

ハチのおなかでかくれんぼ ～ふしぎな昆虫ネジレバネ～

いさか ゆういち りがくぶせいぶつかかくか
井坂 友一 (理学部生物科学科)

みなさんは“ネジレバネ”という昆虫を知っていますか。この名前は、“twisted winged insects (ねじれた翅をもつ昆虫)”という英語の名前に由来しています。普通昆虫は、4枚の翅をもっていますが、ネジレバネのオスの翅は、2枚がねじれてしまっているからです。

さて、ネジレバネ類は寄生虫です。ハチやアリ、カマキリ、ゴキブリなどに寄生して、これら昆虫のおなかのなかで、栄養を奪って成長します。そして、大人になったオスは、寄生していた昆虫から離れます。大人になったメスは・・・、なんとずっと寄生していた昆虫と一緒に一生を過ごすのです。

この、こんなにも変わった昆虫ネジレバネ、なぜ有名でないかという点、とても小さく、なかなか発見されないからです。あの有名なファールブル『昆虫記』にも登場していません。

今回は、これらネジレバネ類の中で、ハチ類に寄生するハチネジレバネを紹介しましょう。



ネジレバネのオス



ハチのおなかでかくれんぼするメス